単機関研究用

研究課題名：日本の地方大学医学生の大学病院の人事組織に対する認識：単施設横断的研究

1. 研究の対象

本研究では、2025年6月と7月に実施予定の臨床実習生のための全体集会に参加する佐賀大学医学部の5年生および6年生を対象に実施します。

- ・除外基準：本研究への参加に同意しない医学科5年生および6年生

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

現在、世界中の国々で、急速に高齢化と出生率の低下が進んでおり、2060年には高齢社会に突入するとされています。その中でも日本は、突出した超高齢社会であり、世界の国々が日本の医療の状況や対策を知ることは非常に意義があります。

2004年以前の日本では、多くの医学生が、大学を卒業後に、卒業大学の医局（内科や外科など、診療科ごとに組織された大学病院における医師の人事組織）に所属し、大学病院か、その関連病院で初期臨床研修およびその後の専門研修を受けていました。大学病院は、地方の市中病院に定期的に医師を派遣することで、地域の病院の医療を維持しており、地方の市中病院の多くが、現在も大学病院からの医師の派遣に依存しています。しかし、2004年に初期臨床研修制度が開始となり、医師は、医学部卒業後の2年間、初期臨床研修を受けることが義務付けられるようになりました。これにより、医学生は、大学病院だけでなく、厚生労働省が定める基準を満たす日本全国の市中病院を研修病院として希望することができるようになり、その結果、約65%の医学生が大学病院以外の臨床研修病院（主に都市部）で初期臨床研修を受けるようになりました。このため、大学病院に勤務する医師数は減少し、大学病院の医師派遣能力の低下と地方の市中病院における深刻な医師不足をもたらしています。さらに、2018年には、2年間の初期研修終了後に数年間の専門研修を受けることで専門医に認定される新しい医師研修制度が導入され、都市部と地方の医師の偏在はさらに悪化したと報告されています。

このような現状をもたらした要因の一つに、医学生の大学医局に対する印象の悪化が挙げられています。医局の印象悪化の理由は、魅力やメリットのなさと言われていますが、そのように感じる医学生の割合や、その要因に関する研究は、我々の知る限り報告されていません。本研究は、佐賀大学医学部の臨床実習生である5・6年生を対象に、「医局」の印象と印象を悪くする要因を明らかにすることを目的に実施します。

研究期間 研究実施許可日 ～ 2029年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報) Google form で作成したアンケートより、以下の情報を収集する

- ① 年齢
- ② 学籍番号
- ③ 性別 (学籍番号より調査)
- ④ 地域枠入学の有無 (学籍番号より調査)
- ⑤ 出身地 (実家のあるところ) ※
- ⑥ 出生地 (生まれたところ) ※
- ⑦ 最も長く居住した地域※
- ⑧ 医局に対する印象 (5段階評価: 1: 全くそう思わない、5: 非常に強く思う) : 魅力的である; 将来所属したいと思う; 指導体制が充実している; 働きやすい; キャリア支援をしてくれる; キャリア選択の幅が広い; 専門医資格を取りやすい; 学位を取れる; 学術活動に取り組みやすい; 最新の医学知識を得やすい; 症例経験が得られやすい; 地域医療に欠かせない; 透明性がある; 自分で選択・判断する機会が多い; 入局・退局が柔軟にできる; 上下関係が厳しい; 人間関係が良好である; ロールモデルとなる医師に出会える; 人事決定が厳しい
- ⑨ 印象の情報源 (1つ選択) : 大学の医師や教員からの説明; 市中病院の医師からの説明; 事務職員からの説明; 業者からの説明; 国試対策委員会での説明; 病院見学先の病院からの説明; SNS; ウェブサイト; その他
- ⑩ SNS やウェブサイトの詳細な内容 (選択した人のみ自由記載形式で解答)
- ⑪ 初期研修終了後の就職予定地 (1つ選択) : 大学病院、市中病院、研究室、開業、行政、その他
- ⑫ 「医局説明会」という表現に抱く印象 (一つ選択) : ポジティブな印象を抱く、ネガティブな印象を抱く、どちらでもない

試料) なし

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、参加者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2029年3月31日までの間、研究対象となる方への公表を目的に、佐賀大学医学部ホームページに掲載しているものです。

佐賀大学医学部 <https://www.med.saga-u.ac.jp/>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部倫理委員会での審査・承認を受け実施されています。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等については、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センター

担 当 者：佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センター 准教授 山下 駿

メー ル：ss4790@cc.saga-u.ac.jp

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属地域医療科学教育研究センター 准教授 山下 駿